

【研究科全体】 教育研究上の目的、教育目標、3方針

人材養成、その他教育研究上の目的

| | |
|---|-----------|
| 農学研究科（前期・後期各課程包含）【学則に掲載済みの内容】 | (100文字程度) |
| 本大学院農学研究科は、国内外の農学諸分野におけるフロンティアとして、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者及び高度専門技術者の人材養成を目指し、実学主義教育のもと論理的思考力と問題解決能力の獲得及び向上を図り、生物資源、生命科学、環境科学、健康科学並びに経営・経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。 | |
| 生物産業学研究科（前期・後期各課程包含）【学則に掲載済みの内 | (100文字程度) |
| 本大学院生物産業学研究科は、幅広い学問領域の知識を備え、高度な専門知識と能力及び創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ人材の育成を目指し、生物産業学に関する実学の精神と文理融合の教育体系に基づき、北方圏の地域性を活用した農林水産に関わる生物資源、バイオテクノロジー、経営経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。 | |

【博士前期課程】

教育目標

| | | |
|---|-------|---------------|
| 農学研究科 | 168文字 | (200～300文字程度) |
| 農学研究科博士前期課程は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。①農学を基盤とし、それぞれの専攻分野における確かな知識と技術を有する者、②研究者・専門家としての責任を自覚し、実学主義のもと問題解決に取り組む能力と意欲を有する者、③適切なコミュニケーションおよびプレゼンテーション能力により社会への発信力を有する者。 | | |
| 生物産業学研究科 | 174文字 | (200～300文字程度) |
| 生物産業学研究科博士前期課程は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。①生物産業学を基盤とし、それぞれの専攻分野における確かな知識と技術を有する者、②研究者・専門家としての責任を自覚し、実学主義のもと問題解決に取り組む能力と意欲を有する者、③適切なコミュニケーションおよびプレゼンテーション能力により社会への発信力を有する者。 | | |

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

| | | |
|---|-------|---------------|
| 農学研究科 | 244文字 | (200～300文字程度) |
| 農学研究科博士前期課程は、その教育目標を踏まえ、次のような者に修士の学位を授与する。すなわち、農学を基盤としそれぞれの専攻分野における①確かな知識と技術を有する者、②研究者、教育者あるいは専門家としての能力を有する者、③論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を有する者、③科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力と意欲を有する者。なお、研究科が定める所定単位の修得と博士前期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格しなければならない。 | | |
| 生物産業学研究科 | 250文字 | (200～300文字程度) |
| 生物産業学研究科博士前期課程は、その教育目標を踏まえ、次のような者に修士の学位を授与する。すなわち、生物産業学を基盤としそれぞれの専攻分野における①確かな知識と技術を有する者、②研究者、教育者あるいは専門家としての能力を有する者、③論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を有する者、③科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力と意欲を有する者。なお、研究科が定める所定単位の修得と博士前期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格しなければならない。 | | |

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

| | | |
|--|-------|---------------|
| 農学研究科 | 341文字 | (250～350文字程度) |
| 農学研究科博士前期課程は、研究科各専攻の教育目標を踏まえ、各専攻において共通して理解すべき学識を得るための特論科目により基盤を築き、選択科目により専門内容をさらに深化させ、あるいは、研究者、教育者あるいは技術者として必要なプレゼンテーションあるいはコミュニケーション能力を向上させ、実験科目により実験技術を修得し、演習科目により知識を深めるとともに発表能力や問題解決能力を増強する。さらに、修士論文の執筆によって、指導教員による密接な指導の下に、問題の発見から研究計画の立案、実験や調査など研究の実施、綿密な議論や考察、文献探索などを実践して専門性を高め、論文の執筆、発表等を体得することにより、農学にかかわる高度な研究者・専門家としての総合力を確立するためのカリキュラムを配置する。 | | |
| 生物産業学研究科 | 347文字 | (250～350文字程度) |
| 生物産業学研究科博士前期課程は、研究科各専攻の教育目標を踏まえ、各専攻において共通して理解すべき学識を得るための特論科目により基盤を築き、選択科目により専門内容をさらに深化させ、あるいは、研究者、教育者あるいは技術者として必要なプレゼンテーションあるいはコミュニケーション能力を向上させ、実験科目により実験技術を修得し、演習科目により知識を深めるとともに発表能力や問題解決能力を増強する。さらに、修士論文の執筆によって、指導教員による密接な指導の下に、問題の発見から研究計画の立案、実験や調査など研究の実施、綿密な議論や考察、文献探索などを実践して専門性を高め、論文の執筆、発表等を体得することにより、生物産業学にかかわる高度な研究者・専門家としての総合力を確立するためのカリキュラムを配置する。 | | |

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

| | | |
|--|-------|---------------|
| 農学研究科 | 200文字 | (200～300文字程度) |
| 農学研究科博士前期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者の受け入れを行う。①農学の当該専攻分野における四年制大学修了程度の学力を有する者。②国内外における科学・技術を理解するための語学力を有する者。③豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する者。④当該専攻分野に対する強い関心、研究者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有する者。 | | |
| 生物産業学研究科 | 206文字 | (200～300文字程度) |
| 生物産業学研究科博士前期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者の受け入れを行う。①生物産業学の当該専攻分野における四年制大学修了程度の学力を有する者。②国内外における科学・技術を理解するための語学力を有する者。③豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する者。④当該専攻分野に対する強い関心、研究者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有する者。 | | |

【博士後期課程】

教育目標

| | | |
|--|-------|---------------|
| 農学研究科 | 154文字 | (200～300文字程度) |
| 農学研究科博士後期課程は、人材養成目的を踏まえ、次のような者の育成を教育目標とする。①農学への深い理解に基づき、それぞれの専攻分野における高度な知識と技術を有する者、②研究者・教育者あるいは専門家として独立して活躍しうる能力を有する者、③豊かな見識と学識により国際的にリーダーとして活躍しうる能力を有する者。 | | |
| 生物産業学研究科 | 160文字 | (200～300文字程度) |
| 生物産業学研究科博士後期課程は、人材養成目的を踏まえ、次のような者の育成を教育目標とする。①生物産業学への深い理解に基づき、それぞれの専攻分野における高度な知識と技術を有する者、②研究者・教育者あるいは専門家として独立して活躍しうる能力を有する者、③豊かな見識と学識により国際的にリーダーとして活躍しうる能力を有する者。 | | |

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

| | | |
|---|-------|---------------|
| 農学研究科 | 282文字 | (200～300文字程度) |
| 農学研究科博士後期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者に博士の学位授与を行う。農学に対する深い理解の上に、①それぞれの専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有する者、②協調性を持ちながらも独立して、研究・教育あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有する者、③多様なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有する者、④科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとする者。なお、農学研究科が定める所定単位の修得と博士後期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格しなければならない。 | | |
| 生物産業学研究科 | 291文字 | (200～300文字程度) |
| 生物産業学研究科博士後期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者に博士の学位授与を行う。生物産業学に対する深い理解の上に、①それぞれの専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有する者、②協調性を持ちながらも独立して、研究・教育あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有する者、③多様なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有する者、④科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとする者。なお、生物産業学研究科が定める所定単位の修得と博士後期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格しなければならない。 | | |

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

| | | |
|--|-------|---------------|
| 農学研究科 | 212文字 | (250～350文字程度) |
| 研究を通しての教育を重視し、研究の全行程を通して専門分野への学識を深め、コミュニケーション能力を増強し、博士論文の執筆においては、指導教員による密接な指導の下に、問題の発見から研究計画の立案、実験や調査など研究の実施、綿密な議論や考察、文献探索などを実践して各自の専門性を確立し、論文の執筆、発表等を体得することにより、農学にかかわる高度な研究者・専門家としての総合力を確立するカリキュラムを編成し、あるいは、教育を実施する。 | | |
| 生物産業学研究科 | 215文字 | (250～350文字程度) |
| 研究を通しての教育を重視し、研究の全行程を通して専門分野への学識を深め、コミュニケーション能力を増強し、博士論文の執筆においては、指導教員による密接な指導の下に、問題の発見から研究計画の立案、実験や調査など研究の実施、綿密な議論や考察、文献探索などを実践して各自の専門性を確立し、論文の執筆、発表等を体得することにより、生物産業学にかかわる高度な研究者・専門家としての総合力を確立するカリキュラムを編成し、あるいは、教育を実施する。 | | |

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

| | | |
|--|-------|---------------|
| 農学研究科 | 222文字 | (200～300文字程度) |
| 農学研究科博士後期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者の受け入れを行う。①農学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有する者。②国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有する者。③研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する者。④研究者・教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有する者。 | | |
| 生物産業学研究科 | 228文字 | (200～300文字程度) |
| 生物産業学研究科博士後期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者の受け入れを行う。①生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有する者。②国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有する者。③研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する者。④研究者・教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有する者。 | | |

[専攻単位] 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

| 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー） | |
|--------------------|---|
| 【博士前期課程】 | |
| 農学 | 農学専攻では、作物または園芸作物の生産、育種、バイオテクノロジー、ポストハーベストおよび農作物に関わる微生物や昆虫類に関する専門的な学識と研究能力を修得し、発想・問題解決能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 畜産 | 畜産学専攻では動物の遺伝・生殖・代謝・免疫（生命科学）と家畜の生産・飼育および衛生管理・経済性・畜産物利用と流通（生産科学）の領域における問題解決の手法を修得し、活用し得る人材に学位を授与する。 |
| セラピー | バイオセラピー学専攻では、人と生き物が健全に共生できる環境および生き物を活用した人間生活の質の向上を実現化するための確かな知識と研究能力を修得し、時代を切り拓く能力を備えた者に学位を授与する。 |
| バイオ | バイオサイエンス専攻では、生命科学の専門領域における確かな知識と研究能力を修得し、問題設定・解決能力とを備えた者、成果発表能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 農化 | 農芸化学専攻では、生産環境化学、植物生産化学、微生物学、食料資源理化学、生物制御化学、栄養生化学の各専門領域における確かな知識と技術を修得し、論理的に問題を解決する能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 醸造 | 醸造学専攻では、酒類生産学、発酵食品学、醸造微生物学、醸造環境科学などの専門分野において確かな知識と微生物学、化学または生物工学を基盤とした研究能力を修得し、問題設定および解決能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 食栄 | 食品栄養学専攻では、食品学や栄養学などの専門領域における確かな知識と研究能力を修得し、問題設定・解決能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 林学 | 林学専攻では、広義の森林学・林学の専門領域における高度な知識と研究能力、管理能力を修得し、森林の保全とその多面的機能の高度利用を目指し、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 農工 | 農業工学専攻では、農業土木工学もしくは農業機械工学に関する専門知識と研究能力を有し、これらを現場での技術開発や問題解決に役立てる能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 造園 | 造園学専攻では、都市や自然地域において快適環境を具体化するため、造園・景観計画、緑地・環境デザイン、造園植物資源に関する、確かな学理、知識と技術、研究・応用デザイン能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 開発 | 国際農業開発学専攻では、農業開発や国際協力にかかわる自然および社会科学の専門領域における確かな知識と研究能力を修得し、問題の設定・解決能力を備えた者に学位を授与する |
| 農経 | 農業経済学専攻では、社会科学の専門領域における知識と研究能力を修得し、食料問題・農業問題・環境問題等における対応能力・解決能力を備えた者に学位を授与する。 |
| ビジネス | 国際バイオビジネス学専攻では、食・農・環境ビジネスに関する専門知識と、倫理、言語能力、国際教養を身につけたジュニア専門家として活躍できる者で、研究能力、発表能力および人間力などの実践的で総合的な能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 生物生産学 | 生物生産学専攻では、植物資源・動物資源生産学の領域における諸問題を解決する手法を修得し、かつそれを活用・実践できる能力を備えた者に学位を授与する。 |
| アクアバイオ学 | アクアバイオ学専攻では、オホーツク海域の水産資源を持続的に利用するための水産生物学や水圏環境学に関する高度な学識と研究手法を修得し、問題設定、解決能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 食品香粧 | 食品香粧学専攻では、食品や香粧品に関する研究を通して、製造・機能性・安全性など食と健康に関わる学問領域における確かな知識と研究能力を修得し、自発的な問題設定・解決能力を備えた者に学位を授与する。 |

| | |
|-------|---|
| 産業経営学 | 産業経営学専攻では、経営学・経済学の基礎的専門知識を修得し、地域生物産業ならびに関連産業・地域企業の持続的発展の学理と総合的な問題解決能力を備えた者に学位を授与する。 |
|-------|---|

| 【博士後期課程】 | |
|----------|---|
| 農学 | 農学専攻では、農学の各分野における広い学識と研究能力を修得し、論理的文章力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、および優れた発想・問題解決能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 畜産 | 畜産学専攻では、動物の遺伝・生殖・代謝・免疫（生命科学）と家畜の生産・飼育および衛生管理・経済性・畜産物利用と流通（生産科学）の領域における問題解決の手法を修得し、広範な社会活動に貢献でき得る研究者・高度専門職業人に学位を授与する。 |
| セラピー | バイオセラピー学専攻は、動植物を活用した心豊かな社会を創造し、実現化するための高度で確かな専門知識と研究能力を修得し、バイオセラピー学を広く普及できる研究者、高度専門職業人としての能力を備えた者に学位を授与する。 |
| バイオ | バイオサイエンス専攻では、生命科学の専門領域における確かな知識と研究能力を修得し、問題設定・解決能力とリーダーシップを備えた者、研究成果を国内外に発信する能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 農化 | 農芸化学専攻では、生産環境化学、植物生産化学、微生物学、食料資源理化学、生物制御化学、栄養生化学のより高度な知識と研究能力を修得し、リーダーシップを発揮し世界に通用する能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 醸造 | 醸造学専攻では、酒類生産学、発酵食品学、醸造微生物学、醸造環境科学の専門分野において高度な専門知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定および解決にむけた指導的能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 食栄 | 食品栄養学専攻では、食品学や栄養学などの専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えた者に学位を授与する。 |
| 林学 | 林学専攻では、森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定・解決能力および問題解決に向けてのリーダーシップを備えた者に学位を授与する。 |
| 農工 | 農業工学専攻では、農業土木工学もしくは農業機械工学に関する高度専門知識と優れた研究能力を有し、これらの専門領域における具体的課題解決に資する能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 造園 | 造園学専攻では、都市や自然地域において快適環境を具体化するため、造園植物・植栽、環境施設・機能、環境資源・生態、造園空間・計画に関する、確かな学理、高度な知識と技術、研究手法と応用能力を修得した者に学位を授与する。 |
| 開発 | 国際農業開発学専攻では、高度な専門知識を踏まえて課題を設定し研究を企画遂行できる人材、さらには国内外の農業開発並びに国際協力分野をリードできる者に学位を授与する。 |
| 農経 | 農業経済学専攻では、社会科学の専門領域における高度な知識と論理的思考能力に基づく研究能力を修得し、食料問題・農業問題・環境問題等における対応能力・解決能力及び問題解決に向けリーダーシップを備えた者に学位を授与する。 |
| ビジネス | 国際バイオビジネス学専攻では、食・農・環境ビジネスに関する高度な専門知識と、倫理、言語能力、国際教養を身につけたシニア専門家として活躍できる者で、自主的な研究計画立案・遂行・発表能力および人間力など総合的な能力を備えた者に学位を授与する。 |
| 共生 | 環境共生学専攻では、自然科学、社会科学および人文科学を基礎とした総合科学分野における高度な知識と独創的な研究能力を修得し、環境共生型社会の構築と維持に向けた課題への解決能力と指導力を得た者に学位を授与する。 |
| 生物産業学 | 生物産業学専攻では、北方圏の地域性を活用した農林水産、バイオテクノロジー、環境、経営の知識を踏まえて、課題設定、問題解決力を持ち、生物産業界でリーダーシップを取れる能力を備えた者に学位を授与する。 |

大学院の入学から修了まで

博士前期課程入学

1年

- ①指導教授・指導准教授の決定
- ②修士論文テーマ決定・実験・調査開始
- ③専攻分野科目を中心に受講

2年

- ①実験・調査まとめ
- ②修士論文の作成
- ③専攻内で修士論文発表
- ④専攻内最終試験

大学院各研究科委員会（承認）

修了（学位授与）



博士後期課程入学

1年

- ①指導教授・指導准教授決定
- ②研究テーマ決定・実験・調査開始

2年

- ①実験・調査継続
- ②学術論文の作成と投稿等
- ③学会発表等

3年

- ①実験・調査まとめと博士論文の作成
- ②学術論文の作成と投稿
- ③学会発表等
- ④公開本人口頭発表会
- ⑤専攻内最終試験

大学院各研究科委員会（承認）

修了（学位授与）